

税理士法人

複数の有資格者が一堂に集う
「ワンストップ・サービス」



顧客の会計代行業務の合理化・迅速化により決算・確定申告業務を効率化、「事務代行」から「経営への助言」へと業務の『質』改革を実現！！

ノース ブレイン
税理士法人North Brain

- 札幌市中央区南1条西4丁目5番地1 大手町ビル8階
- 代表者：代表社員 前島 治基
- 設立：平成22年12月
- 従業員数：12名
- 事業内容：ファイナンス支援、生産性UP支援、IT会計監査、財務モニタリング、単年度経営計画策定支援ほか
- URL：<http://www.sapporo-tax-accountant.com>



税理士法人North Brainは、クラウド型会計システムをはじめとする先進的なITシステムを活用し、自所だけでなくクライアントに対してIT活用による「省力化」「見える化」の普及を推進しているほか、将来像を数値で見える化する「未来会計」を提唱している。

また、平成23年1月に同じフロア内に入居する弁護士事務所、司法書士事務所、社会保険労務士事務所と連携して、法律問題を一カ所ですべて対応可能なワンストップ・サービスを開始した。24年10月には「経営革新等支援機関」にも認定され、クライアントの経営革新に取り組んでいる。

ビジネス上の「課題」

- ・クライアントとの情報共有
- ・経営支援にあてる時間の確保
- ・職員の特性に応じた仕事の割り振り

IT化の推進なくして生産性の向上はあり得ない！！

無駄な「作業」を減らして「アドバイス」時間を増やす！！

同法人のクライアントは、クラウド型会計システムを利用する前は、独立した会計システム（インストール版）を利用していたため、同法人との間で会計情報の共有ができなかった。そのため、職員がクライアントを訪問した際は、最初の1～2時間は月次の締め作業に時間がかかり、経営支援にあてる時間を多く取れずにいた。

そこで、低生産性の原因であるムダな「作業」を圧縮し、

クライアントへの「アドバイス」時間を増やすこと、「職員個々の特性に応じた仕事の割り振り（分業化）」を実行するために、自社とクライアント双方のIT化を推進し、顧客向け作業の分業化を進めた。

さらにIT技術の活用で作業を減らし、クライアントが求めるアドバイスの時間を増やすため「潜在的生産性」を向上させる必要があった。

ビジネス上の「狙い」

- ・仕訳作業の自動化
- ・クライアントと会計情報を共有
- ・ITの駆使

クライアント企業の稼働力をサポートする！！

意欲に燃える経営者を応援したい！！

同法人は、クライアントの中小企業経営者の悩みを解決するには、生産性を向上し、低生産性の原因となっている「現金」「紙」「情報のブラックボックス化」を解消し、従業員の精神的・金銭的な充足感を高め、モチベーションをアップさせる必要があると考えた。

そこで、前島代表は、労働生産性向上の具体的な手法として、自所とクライアントの両方でクラウドサービスを活用し、仕訳入力力の自動化、会計情報の共有化に取り組むこととした。

一例として、クライアントの確定申告支援業務では、領収書のスキャンデータ（OCR読み取り→AI識別→人が補完）を海外へ送り、海外で会計データに変換した後、翌日に会計システムに取り込むことで、仕訳データを入力する作業を削減した。また、事務所内でもITを活用して、シンプルかつスムーズなコミュニケーション、スケジュール等の共有を進めた。

その他にも、名刺管理サービスや勤怠管理サービスなどクラウドを駆使し、生産性向上に取り組んでいる。

〈生産性向上を阻む「三大悪」を根絶〉

領収書を書く
手間が掛かる



現金

紙

保管場所が必要で、データを探す手間も掛かる



情報

情報のブラックボックス化

情報の属人化により
活用が阻害される

改善後

〈導入した主なクラウドサービス〉

MFクラウド

- ・仕訳入力自動化
- ・会計データ共有化

chatwork

- ・LINEのビジネス版
- ・無駄な会議の削減
- ・シンプルかつスムーズなコミュニケーション

MyKomon

- ・スケジュールの共有
- ・ToDoの管理・共有
- ・顧客別生産性の把握
- ・業務報告の共有
- ・立替清算

ビジネス上の「効果」

- ・タイムリーな会計データの共有化
- ・ムダな会議の削減
- ・自所および顧客の業務効率改善

潜在的生産性向上を実現し、繁忙期の作業時間を3分の2に削減！！

「事務代行」から「経営への助言」へ業務の質を改革！！

同法人は、クライアントとの会計情報のやり取りにクラウドシステム（MF会計）を導入したことで、クライアントとの間でタイムリーな会計データの共有化を実現した。そのため、システム導入前にかかっていた締め作業の時間がなくなり、今は訪問してすぐに経営指導を行えるようになり、繁忙期の作業時間を3分の2に削減できた。また、Chatwork（ビジネス版チャットツール）の活用により無駄な会議を削減し、

外出先でも顧客とのやり取りをスマートフォンで確認できるほか、情報を全員に周知徹底できるようになった。

このように、同法人は多様なクラウドサービスを併用し、自らの業務効率化を図ると同時に、顧客の経理業務効率化を促進すべく、クラウドサービス導入支援を行い、「事務代行」から「経営への助言」へと業務の質的改革を推進し続けていった。

導入企業の声

当所は、クライアント企業の「稼ぐ力」をサポートすること、すなわち持続的な増収増益を実現していただくことを使命と認識しています。また、当所のサービスは、最新ツールの活用による「双方の業務効率化」および「コミュニケーションの円滑化」を前提として成り立つものですので、各種クラウド型システムの導入は必須と考えています。

税理士業務は法改正にも即座に対応しなければいけません。クラウドサービスはシステムの変更をサービスベンダーが行うので、基本的にメンテナンス不要である点が魅力の一つです。当所は多様なクラウドサービスを導入することで業務効率化に成功し、空いた時間で顧客へより有効な時間をかけることができるようになりました。



前島代表

ITコーディネータから一言

複数のクラウドシステムを活用するとともに、顧客のITシステム導入・活用を支援することで、自社だけでなく「双方の業務効率化」を推進している事例です。

近年、さまざまなクラウドサービスが連携可能となり、複数のクラウドサービス間でデータを移し替える手間が省けるようになり業務効率が向上してきました。今後もクラウドサービスの活用範囲拡大が期待できます。